

## 「関西電力グループ DX・AI戦略」の策定について

2026年5月13日  
関西電力株式会社

当社は「関西電力グループ 経営計画2026」に掲げる「KX (Kanden Transformation) toward 2040」の実現に向け、DXおよびAIの利活用で目指す姿と道筋を示す「関西電力グループ DX・AI戦略」を策定しました。

昨今、DX・AIの急速な技術進化が進んでおり、特に生成AIやAIエージェントは産業構造を大きく変えつつあります。当社はAIの利活用を前提に業務を再構築し、人とAIの協働による新たな事業・サービスの創出や生産性向上を実現することで「関西」「電力」を超えてお客さまや社会に新たな価値をご提供します。

### 【DX・AI戦略の主なポイント】

1. 関西電力グループのこれまでのDX
  - ・経営・事業・DX専門子会社の三位一体、およびOpenAIとの戦略的連携によりDXを加速してきました（DX銘柄2026に選定）。
2. 新たなDXビジョン・ロードマップによる事業DX・オフィス業務DXの加速
  - ・AI前提の変革を実現する「DXビジョン」と「DXロードマップ」をアップデートしました。
  - ・新たなビジョンとロードマップに基づき、事業DX・オフィス業務DXを一層加速させます。
3. DX基盤の強化
  - ・DXの基盤であるDX人材育成、データマネジメント、ITガバナンス・情報セキュリティの強化に取り組みます。

当社グループは今後もDX・AIを組織一体で推進し、人とAIの協働によりお客さまや社会に新たな価値を提供してまいります。

添付資料：関西電力グループ DX・AI戦略

以 上

# 関西電力グループ° DX・AI戦略

2026年5月  
関西電力株式会社

## 1. トップメッセージ

## 2. 「関西電力グループ 経営計画2026」の概要とDX・AIの取組み

## 3. これまでのDXの取組み

## 4. 今後のDX・AIの取組み

## 5. DX推進を支える基盤

## 6. DX案件数・投資対効果

## 7. 最後に

## 1. トップメッセージ

## 2. 「関西電力グループ 経営計画2026」の概要とDX・AIの取組み

## 3. これまでのDXの取組み

## 4. 今後のDX・AIの取組み

## 5. DX推進を支える基盤

## 6. DX案件数・投資対効果

## 7. 最後に

# 1. トップメッセージ

## AIの利活用を前提とした変革で、人がAIと協働しながら新たな価値を創り続ける

地政学リスクの高まり、インフレ・金利上昇、人口減少の進行など、エネルギー事業を取り巻く不確実性は一層増えています。脱炭素化の継続的な進展や中長期的な需要増加が想定される中、エネルギーは日本の持続的な成長を支える社会基盤としての重要度をさらに高めています。

さらに、DX・AIの領域で技術が急速に進化しており、特に生成AIやAIエージェントは単純な効率化にとどまらず、企業の提供価値や事業運営のあり方そのものを大きく変えつつあります。

こうした事業環境を踏まえて、「関西電力グループ 経営計画 2026」で「KX toward 2040」を掲げました。日本のエネルギーを牽引し、新たな事業領域に挑戦することで「関西」「電力」を超えて、お客さまや社会に新たな価値をご提供していきます。同計画では「AIの利活用によるサービス創出と業務の再構築」を打ち出し、「DX・AI実装の加速」をマテリアリティの1つに位置付けています。

当社グループは2018年にDX戦略委員会およびK4 Digital株式会社を立ち上げ、経営・事業・DX専門子会社一体でDX推進に取り組んできました。特に直近では2024年7月にDXビジョン・ロードマップを公表し、2025年6月にOpenAIとの戦略的連携を開始するなど、これまでにないスピードでDX推進・AI利活用を加速しています。今回、生成AIやAIエージェントの技術進展を踏まえてDXビジョン・ロードマップをアップデートしました。更新にあたっては、AIを既存業務に当てはめるのではなく、AIを前提とした業務変革を実現するビジョンと、それを達成するためのロードマップを策定しています。

DXの基盤であるDX人財育成、データマネジメント、ITガバナンス・情報セキュリティの強化も重要です。事業のDXを牽引する人財の育成、強み・差別化の源泉となる当社独自データの蓄積・活用、DX・AIの加速を支える信頼性強化のためのガバナンス整備を進めます。

当社グループは、挑戦者としての先人のDNAを受け継ぎながらDX推進・AI利活用を全社一丸で推進し、人とAIの協働によりお客さまや社会に新たな価値を提供してまいります。



関西電力株式会社  
取締役 代表執行役副社長  
荒木 誠

1. トップメッセージ

**2. 「関西電力グループ 経営計画2026」の概要とDX・AIの取組み**

3. これまでのDXの取組み

4. 今後のDX・AIの取組み

5. DX推進を支える基盤

6. DX案件数・投資対効果

7. 最後に






## KX Kanden Transformation toward 2040

日本のエネルギーを牽引し、「関西」「電力」を超えて、強靱な社会基盤を提供する  
多様なステークホルダーの皆さまとともに新たな価値を創り、共感と成長を分かち合う

### 2040年に向け推進する取組み(1)

- エネルギー、送配電、情報通信、不動産は変わらず成長の柱
- 新たな事業をFirst Moverとして探索・事業化

- 累計**15兆円**(26-40年度)の規律ある投資
- ROIC-WACCスプレッド**100~150bps**、営業CF**1.5兆円**(40年度)
- お客さまや社会から支持される持続的な収益力の追求
- バランスシートマネジメント
- 人財基盤強化や**AIの利活用**
- サプライチェーン確保に向けた対応
- グループ全体の内部統制強化とより良い組織風土の醸成

エネルギー		電源のリプレース、全国適地での電源開発 発電設備容量3割増、GHG排出量(Scope1、2)削減80% <sup>(2)</sup> お客さまから信頼され選ばれるサービスの開発・提供
送配電		高経年化設備の計画的更新と電力ネットワークの次世代化
情報通信		コネクティビティDC3地点以上、海底ケーブル複数案件、 利益規模2倍
不動産		国内主要都市における地域・面開発、利益規模2倍
新領域		HSDC:900MW、水素事業:取扱量全国シェア3割

注記: (1) 各セグメントに記載の数値、地点数等は2040年時点の想定  
(2) 2013年度比

- 向こう3年間は、2040年の目指す姿の実現に向けた歩みを加速する期間
- ガバナンスとコンプライアンスを大前提に、安全を最優先に、経営を深化・変革し、お客さま価値を創造していく

## KX Kanden Transformation toward 2040

### お客さま価値の創造



- 需要増加と脱炭素化ニーズに応える電源基盤の確立
- お客さまニーズに応える最適なソリューションの提供
- 強靱な電力ネットワーク構築による安全・安定供給
- AI時代の社会を支えるデジタルインフラの構築
- 産業と暮らし、地域の営みを支える不動産開発
- お客さまや社会のニーズを先取りした事業の探索と事業化
- 地域との共創による事業展開

### 経営の深化と変革

- 事業の持続性を高める人財基盤の強化
- **AIの利活用によるサービス創出と業務の再構築**
- サプライチェーン確保へ向けた具体的な行動
- GX政策等への積極的な貢献

## AIの利活用によるサービス創出と業務の再構築

- AIの利活用を前提とした業務の再構築により、新たな事業・サービスの創出や生産性向上を実現する
- 人とAIの協働により、人は安全・安定供給や、新たなソリューションの提供をはじめとする高付加価値業務に一層注力する
- 向こう3年間は、DX・AIの実装を組織一体となって加速する

## 向こう3年間の取組み

AIを前提とした  
業務の再構築

## 燃料調達・電力需給・取引

- AIでアセット運用と電力・燃料取引を高度化



## 発電

- 人×AI×ロボットにより安全・効率的な発電所運営へ



## 小売・ソリューション

- AI活用による顧客体験の向上、サービス創出

AIエージェントと創る  
新たな働き方

## 経営判断

- AIで経営判断プロセスを高度化、リスク評価や意思決定の質とスピードを向上



## オフィス業務

- 各業務のAIエージェント化により生産性向上を実現、高付加価値業務に集中

## DX基盤



## DX人財

- DX人財6,000人、高度DX人財70人を目指す



## データマネジメント

- 強みの源泉となる社内データを高精度・高鮮度で即活用可能に



## ガバナンス・情報セキュリティ

- DX・AIの加速を支える信頼性強化の統制基盤を構築

目指す姿	
 <p>燃料調達・ 電力需給・取引</p>	<p><b>エネルギー需給オペレーション自動化 ～発電バリューチェーン全体での収益拡大～</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>データをリアルタイムで収集・分析し、全体最適な電源運用や電力・燃料取引をAIが自動立案</li> </ul>
 <p>原子力</p>	<p><b>DxN<sup>(1)</sup></b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>DX基盤とAIの利活用を前提とした業務が定着し、安全確保、効率化、人材育成を一体的に実現</li> </ul>
 <p>火力</p>	<p><b>スマート発電所</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル技術を活用した発電所運営の変革により、安全性・信頼性・生産性をさらに高め、人がより付加価値の高い仕事に力を発揮できる発電所</li> </ul>
 <p>水力</p>	<p><b>データドリブな水力業務</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様なデータ・蓄積ナレッジを最大限活用し、水力事業運営の高度化・生産性向上を実現</li> </ul>
 <p>送配電</p>	<p><b>送配電業務の変革とエネルギープラットフォーマーへの進化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>AI・デジタル活用により安全・正確で迅速な業務へ変革し、電力レジリエンスの強化や系統信頼度向上等を実現</li> <li>「エネルギープラットフォーマー」への進化を実現</li> </ul>
 <p>小売・ ソリューション</p>	<p><b>サービス創出/強靱な事業基盤へのAI活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サービスプロバイダーへの更なる転換</li> <li>営業フルサポートAIによるお客さま満足の向上</li> </ul>

向こう3年間の具体施策
<ul style="list-style-type: none"> <li>データ・AIの利活用による、発電バリューチェーン全体を統合したリスク・リターン可視化や最適化シミュレーションの導入</li> <li>AIの利活用を前提とした変革の基盤となるデータマネジメントの推進</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>現場ネットワーク、発電設備3Dマップの全プラント順次導入と活用</li> <li>許認可データ基盤の整備・活用推進</li> <li>AIの利活用による現場業務改善の定着</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>運転・保守等の情報を統合し活用するための共通データ基盤の整備</li> <li>火力発電所の運転・保守現場でのAI活用による業務プロセス変革</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル技術の活用による現場業務の生産性向上・異常の早期検知</li> <li>ナレッジの形式知化・蓄積による高品質・効率的な計画・管理業務</li> <li>発電データ等の高度解析による最適化された運転・運用業務</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>拡張可能なITインフラの構築、目指す姿実現に必要なデータの蓄積</li> <li>データを活用した運用高度化・省人化・自動化</li> <li>送配電全役員・全従業員のDXリテラシー向上および高度専門人材の内製化</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>SenaSon<sup>(2)</sup>の機能拡充、生成AIを活用した事業開発・サービス改善</li> <li>生成AIを取り込んだお客さま対応プラットフォームの構築</li> <li>営業活動へのAI導入の拡充・促進</li> </ul>

注記: (1) Digital Transformation of Nuclear Power Plantsの略  
(2) 当社開発のエネルギーマネジメントシステム

1. トップメッセージ

2. 「関西電力グループ 経営計画2026」の概要とDX・AIの取組み

**3. これまでのDXの取組み**

4. 今後のDX・AIの取組み

5. DX推進を支える基盤

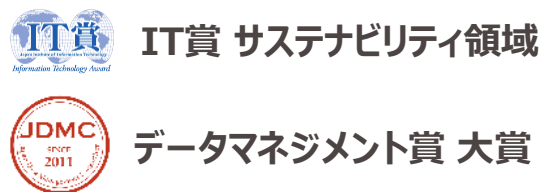
6. DX案件数・投資対効果

7. 最後に

### 3. これまでのDXの取組み DXの沿革と社外受賞歴

- 2018年に**DX戦略委員会**および**K4 Digital**(株)を立ち上げ、DX推進の取組みを本格的に開始
- 2025年度以降で**6件の社外受賞**を獲得

#### 主なDX受賞



2018

「K4 Digital」を設立(8月)



「DX戦略委員会」を立ち上げ(6月)

2024

「DXビジョン・ロードマップ」を公表(7月)

2025

OpenAIとの  
戦略的連携を開始(6月)

ChatGPT Enterpriseを  
全社員に展開(10月)

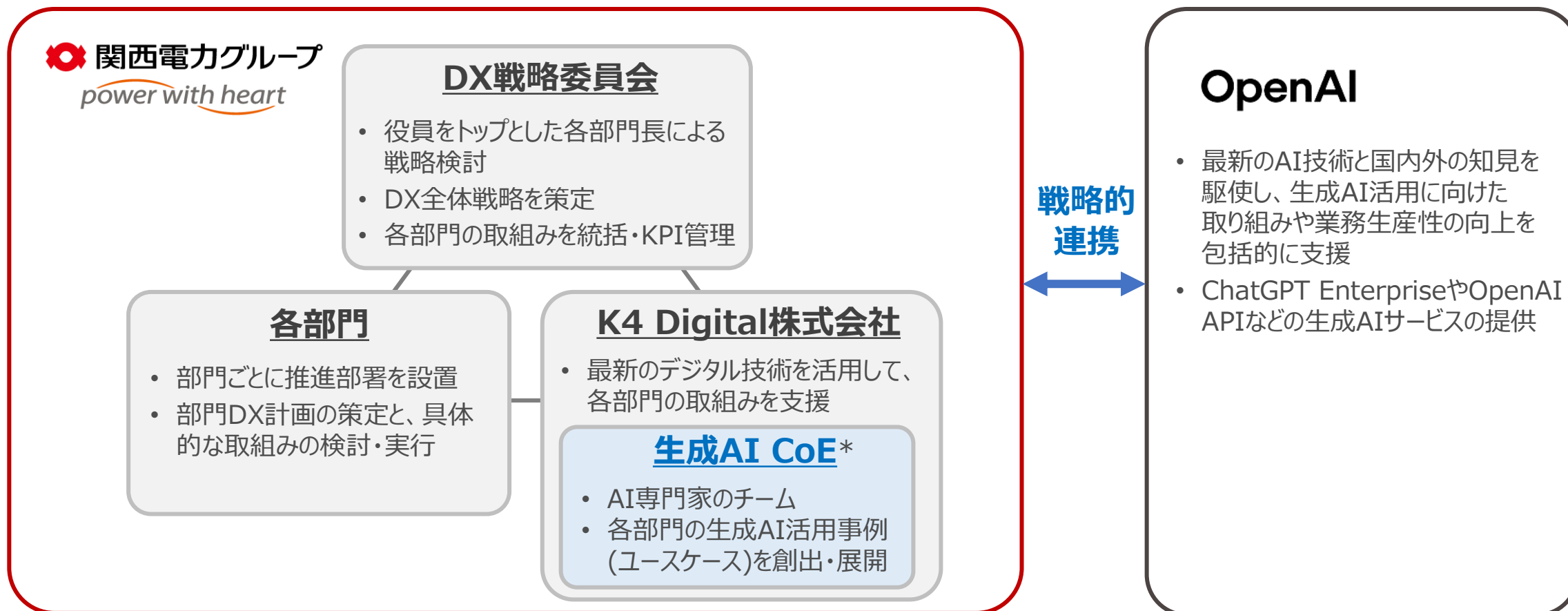
2026

「DX・AI戦略」を  
公表(5月)



#### DXの 主な取組み

- 役員をトップとする**DX戦略委員会**、**各部門**のDX推進部署、DX専門会社の**K4 Digital(株)**が**三位一体でDXを推進**
- 2025年に**OpenAIとの戦略的連携**を開始し、最新のAI技術と国内外の知見の共有や、生成AI活用に向けた取組み等の包括的な支援を受けられる体制を構築



\*Center of Excellence : 重点課題や戦略の推進を目的として、優秀かつ専門的な人材を集約した組織

1. トップメッセージ

2. 「関西電力グループ 経営計画2026」の概要とDX・AIの取組み

3. これまでのDXの取組み

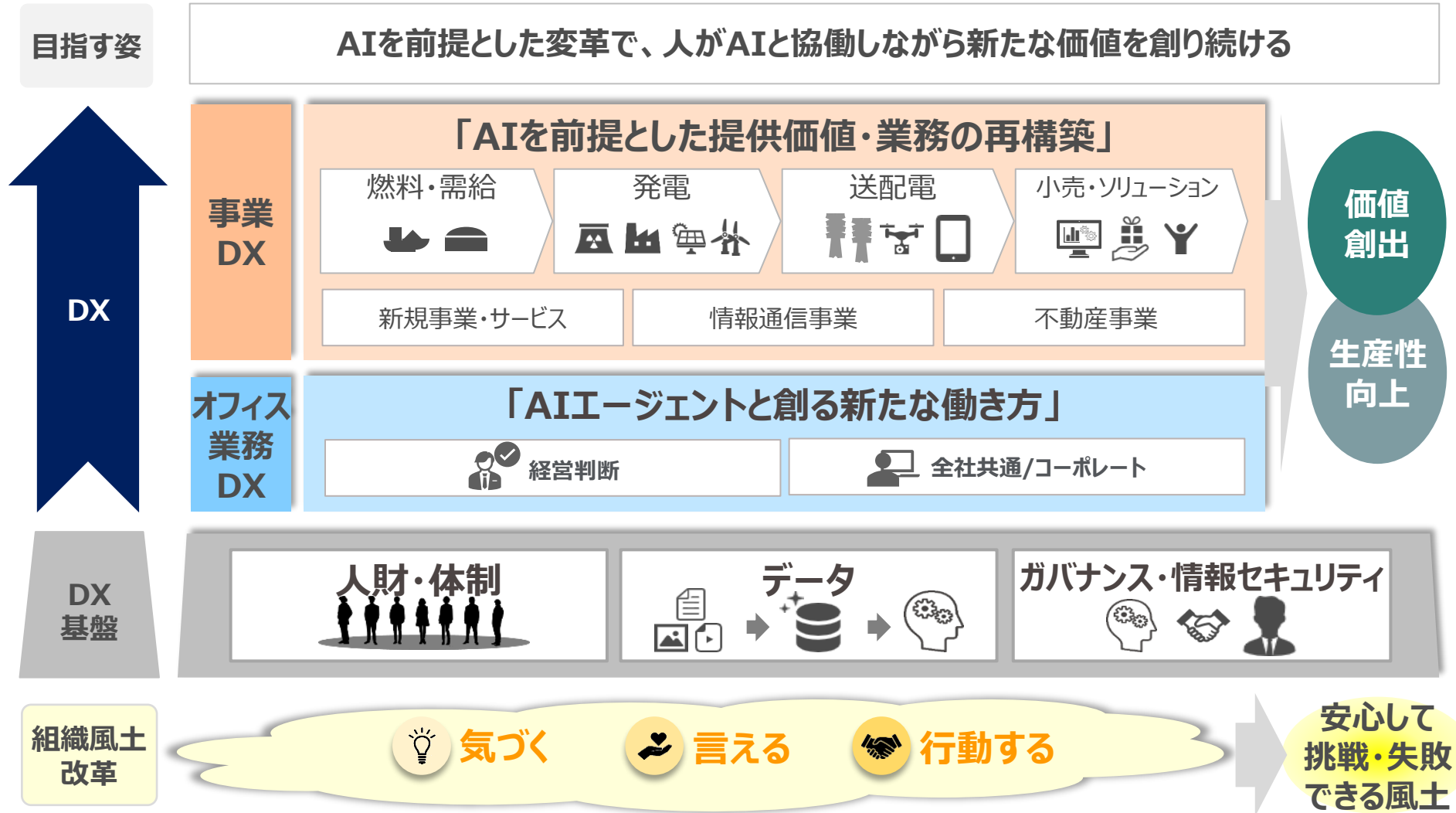
**4. 今後のDX・AIの取組み**

5. DX推進を支える基盤

6. DX案件数・投資対効果

7. 最後に

- 2024年7月に公表したDXビジョン・ロードマップを、生成AI・AIEージェントの技術進展を踏まえ更新
- 「AIを前提とした提供価値・業務の再構築」と「AIEージェントと創る新たな働き方」により「価値創出」「生産性向上」を加速する
- DX基盤として「人財・体制」「データ」「ガバナンス・情報セキュリティ」の取組みを進める



・ **生成AI・AIエージェントの技術進展を踏まえてDXビジョンを見直し、最新の技術動向を踏まえてロードマップ・計画を部門ごとに作成**

\*今後もAIの技術進展に合わせて随時アップデート予定

分類	対象領域	DXロードマップ			DXビジョン 「AIを前提とした 提供価値・業務の再構築」
		～2025年度	2026～2028年度	～2035年度	
事業DX	エネルギー需給	AI活用による予測業務の高度化	燃料・電力の需給予測・市場価格予測の高度化		エネルギー需給 オペレーション自動化
			発電バリューチェーン最適化構想策定	AIによる発電バリューチェーン全体の最適シナリオの立案	
	原子力	現場ネットワークの構築／発電所内部の3Dマップ構築		AI予兆検知・保全最適化	DxN*
		AI等による現場業務改善			* Digital Transformation of Nuclear Power Plants
		許認可データ基盤の整備	AIナレッジ活用（判断・資料作成支援）		
	火力	巡視・監視の自動化など 個別業務のデジタル化	データ活用基盤の整備		スマート発電所
			AIによる業務プロセス変革 (法令届出業務、系統隔離業務でのAI導入 等)	AIエージェントの実装による 業務変革の加速	
	水力	文書の電子化・ 構造化	データ連携・可視化、ノウハウ蓄積	AIエージェントによる設備評価・分析の高度化、最適な 発電計画作成支援、ナレッジ・最新技術を考慮した 工事仕様案の提案	データドリブな 水力業務
		センサ・カメラ設置 設備状態監視システム構築	異常の早期検知、障害情報からの復旧対応検討	AIエージェントによる警報発報後の 机上検討支援	
	小売・ ソリューション	SenaSon、モアクト等の サービス開発	AIを活用した事業開発、サービス改善	各種サービスの収益拡大、 新規事業領域拡大	サービス創出/ 強靱な事業基盤への AI活用
		営業支援AI試行開発	営業活動へのAI導入の拡充・促進		
			AIを取り込んだお客さま対応プラットフォームの構築	AIエージェントによるお客さま対応の さらなる自動化・高度化	

・ **生成AI・AIエージェントの技術進展を踏まえてDXビジョンを見直し、最新の技術動向を踏まえてロードマップ・計画を部門ごとに作成**

\*今後もAIの技術進展に合わせて随時アップデート予定

分類	対象領域	DXロードマップ			DXビジョン
		~2025年度	2026~2028年度	~2035年度	
オフィス業務DX	全社共通業務	生成AIツールの全社展開  オフィス業務ツールへの生成AI機能搭載	<b>共通業務AIエージェント</b> ・情報収集・分析AI ・企画・提案・資料作成AI ・日程調整・ファシリテートAI 等  AIエージェントとオフィス業務ツール等との連携	より高度な共通業務のAI化 ・戦略・計画策定 ・社内外調整 等	AIエージェントと創る新たな働き方
	コーポレート業務	ITポータル・予算問合せ業務への生成AI導入 社外広報への生成AI導入 法令手続支援AIのPoC  将来的なAI活用を見据えた人事労務・調達システム刷新	<b>専門業務AIエージェント</b> ・会計データ作成AI ・調達契約AI ・採用データ分析AI ・面接サポートAI 等	専門業務AIの更なる拡大	
	経営	経営判断における投資・リスク評価AI  経営の意思決定支援AI	議論多角化 社外専門家(他社/顧客/世論) ファシリテーション・机上討論	AIがリスク・論点を整え、人が決断と責任を担う経営判断	

AIオーケストレーターによる連携

- 生成AI・AIIエージェントの技術進展を踏まえてDX基盤のロードマップを作成。**人財育成・データマネジメント・ガバナンスの強化**に取り組む

\*今後もAIの技術進展に合わせて随時アップデート予定

分類	DXロードマップ			DXビジョン
	~2025年度	2026~2028年度	~2035年度	
人財・体制	DX研修の適時アップデートと実行	ERP刷新による 人財管理高度化	AIと協働するための新たな働き方に 応じたスキル育成  AIIエージェントを活用した育成プロセス の高度化・パーソナライズ化	AI時代の人財力確保と AIと協働する組織への転換
データ	データ利活用のための基盤構築・案件創出	AI活用に向けたデータガバナンスの推進	データマネジメント業務へのAI適用	AIによる自動化含む データマネジメントの確立
ガバナンス	当社AIポリシー・ルールの 整備	AIIエージェント等の技術・活用進展を踏まえた更なるガバナンス対策	AIポリシー・ルールの適時アップデート	安心・安全な AI活用の仕組み確立

- エネルギー需給では、これまで**AIを活用した予測業務の高度化や信頼性の高い業務プロセスの構築**に注力してきた
- 今後は、**発電バリューチェーン全体の最適化による収益拡大**に向けて、**AIによる自動化を見据えたオペレーションの高度化**に取り組む

### これまでの取組み

#### AI活用による予測業務の高度化

各予測業務にAIを導入し、  
予測精度と業務効率の向上を実現

電力需給・  
市場価格予測

LNG船運航管理  
システム



業務効率化

業務精度の  
バラつき低減

#### 信頼性の高い業務プロセスの構築

業務基盤・データ・生成AIの高度化により、  
誤入札防止・業務適正性確保等、  
信頼性と効率性を両立した業務プロセスを実現

業務基盤  
再構築

データ  
マネジメント

請求書・稟議書  
作成自動化



業務効率化

業務の手戻り防止

### 2026～2028の取組み

#### 発電バリューチェーン全体での収益拡大に寄与するDXの推進

燃料・電力統合的な  
リスク・リターン可視化、最適化シミュレーション



#### システム・AIを適切に組み合わせた業務への変革

誤入札リスク低減に向けたシステム刷新  
業務の適正性確保に向けたデータマネジメント



#### AI活用等における新たな業務効率化



#### IT・DXスキルを有する人材の確保・育成

スキルレベル管理・教育体系等について  
具体的な検討・取組みを加速



### 2035年頃の到達点

#### エネ需オペレーション自動化 ～発電バリューチェーン全体を自動最適化～

リアルタイムでのデータ・情報収集・分析

最適な電源運用・電力/燃料トレーディングをAIが自動立案

人間はAIにタスクを“任せる・監督する・検証する”役割に特化



• リスク・リターン定量評価  
の高度化



• 発電バリューチェーン全体の  
最適シナリオの自動立案

#### 最適化

##### 予測



• 短期・長期需給・市場  
価格予測の高度化

##### 計画



• 需給計画の  
自動立案

##### 取引



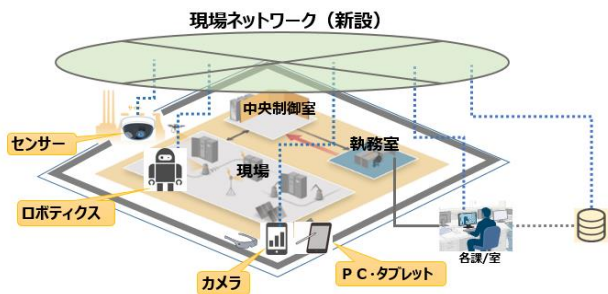
• 取引・交渉の  
高度化・省力化

- 原子力事業では、これまで**現場ネットワークの構築**や**文書の電子化**等により、**DX推進の基盤整備**に取り組んできた
- 今後は**安全確保、効率化、人財育成を一体的に実現**するため、足元では、**DX推進基盤の拡大**や**生成AI等を用いた現場業務改善の定着**を進める

これまでの取組み

現場ネットワークの構築

DX推進基盤として、屋内で活用できる現場ネットワークを構築（大飯にて試運用中）



文書の電子化・現場作業ツール整備

蓄積データの現場活用を目的に、点検記録や作業チェックシートの電子化運用開始



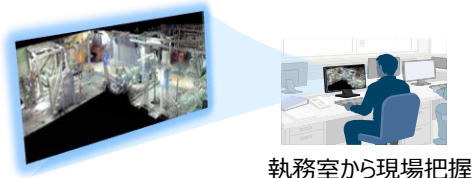
FY26～FY28の取組み

DX推進基盤の整備・活用

DX施策に必要なDX推進基盤の全プラントでの順次整備・拡大と業務への本格活用

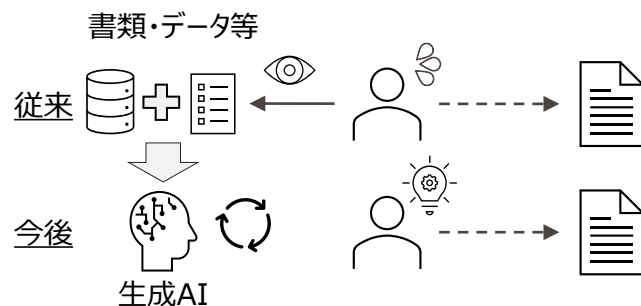
現場ネットワークの構築

発電所内部の3Dマップの構築



許認可データ基盤の整備

生成AI等を用いた現場業務改善の定着



2035年頃の到達点

DX基盤とAIを前提とした業務が定着し、安全確保、効率化、人財育成を一体的に実現

**DxN アップデート**  
2035年頃の原子力発電所の姿

・安全 ・効率 ・人財

AI予測検知・保全最適化  
現場NW  
現場一拠点間リアルタイム協働  
AIナレッジ活用（判断・資料作成支援）  
資機材・資源・廃棄物のデジタル一元管理  
デジタル統合防護管理  
所内外統合ワークフロー  
作業エリアデジタル統制  
仮想空間事前検証・訓練  
横断データ即応活用  
遠隔・自律型フィールド運営

DX基盤とAIを前提とした業務が定着し、安全確保・効率化・人財育成を一体的に実現

- 火力事業では、これまで個別業務のデジタル化により、火力発電業務の効率化・高度化を実現した
- 今後はスマート発電所の実現を目指し、データ活用基盤の整備とAIを活用した業務変革を実施する

これまでの取組み

個別業務のデジタル化

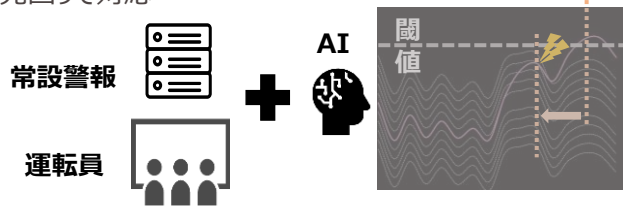
■ 巡視点検の自動化

ロボット・センサ×AIを活用し巡視点検を効率化



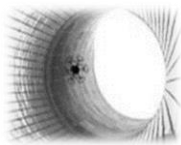
■ 異常兆候検知の高度化

運転データを常時監視し、異常兆候を早期に捉え先回りに対応



■ 非GPS環境下対応のドローン開発

非GPS環境でも自律飛行可能なドローンで危険箇所を点検し、効率化と安全性を向上



煙突内部点検

2026～2028年度の取組み

データ基盤整備と業務変革

データ活用基盤の整備

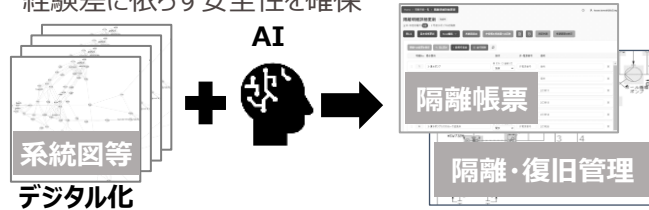
設備・運転・保全データをつなぎ、重点業務でAIを使いこなすための共通基盤を整備



業務の変革

■ 安全確保プロセスの変革(例：系統隔離※帳票作成サポートAI)

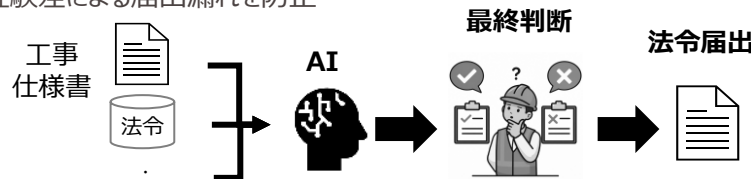
系統情報のデジタル化と帳票の自動作成により、業務効率化とヒトの経験差に依らず安全性を確保



※系統隔離とは、工事対象設備を系統から切り離し(弁閉止等)、作業員が安全に作業できる環境を確保すること。

■ 品質管理プロセスの変革(例：法令届出サポートAI)

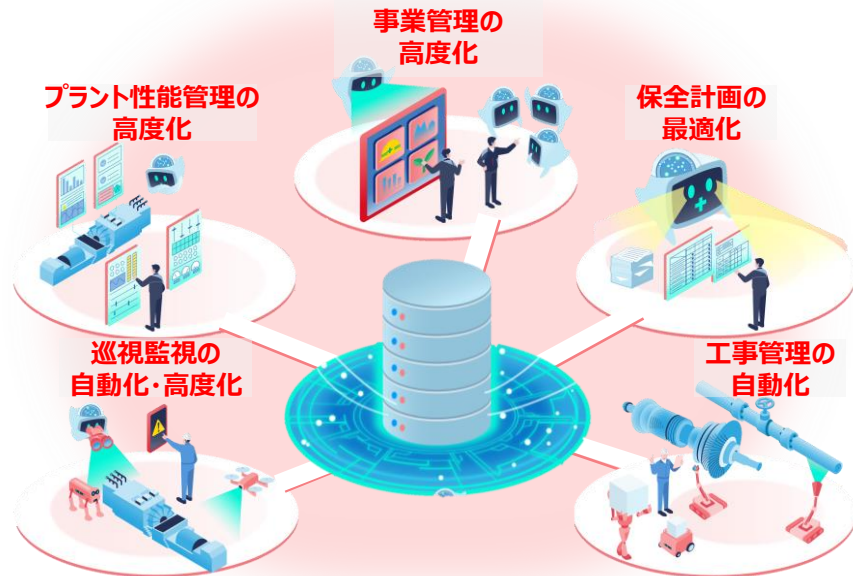
法令届出要否をAIが網羅的に評価し、ヒトの最終確認を支援することで、経験差による届出漏れを防止



2035年頃の到達点

「スマート発電所」の実現

デジタル技術を活用した発電所運営の変革により、**安全性・信頼性・生産性を更に高め、人がより付加価値の高い仕事に力を発揮する**



データを活かす  
Data Driven

ヒトがAIを育て  
ヒトとAIで共創する  
Co-Creation

- 水力事業では、これまで**デジタルツールの活用による業務効率化**や、**センサ・カメラ・通信環境の整備**による業務基盤の構築を進めてきた
- 今後はサステナブルな水力事業の実現に向け**データドリブンな業務への転換**を図るため、**構築した業務基盤を活用した業務変革**を推進する

これまでの取組み

FY26～FY28の主な取組み

2035年頃の到達点

＜デジタルツールの活用・業務基盤構築＞

- ドローン・画像解析活用による巡視・点検業務の省力化
- 設備3Dマップ化による調査効率化、ナレッジ連携の実現
- センサ・カメラ・通信環境整備による業務基盤の構築

＜業務基盤構築から業務変革へのフェーズ移行＞

＜データドリブンな水力業務の実現＞

＜足元の取組＞

デジタルツールを活用した効率的な現場業務の実現

＜設備状態監視システム＞

- 設備異常の早期検知

＜Hydroマップ＞

- ARによる遠隔業務支援
- 3Dモデルによる設計業務支援

ナレッジの整備による高品質・効率的な机上業務の実現

＜ノウハウ・ナレッジの蓄積＞

- 文書電子化・メタデータ付与
- 業務思考プロセス・ノウハウ蓄積

＜水力情報連携システム＞

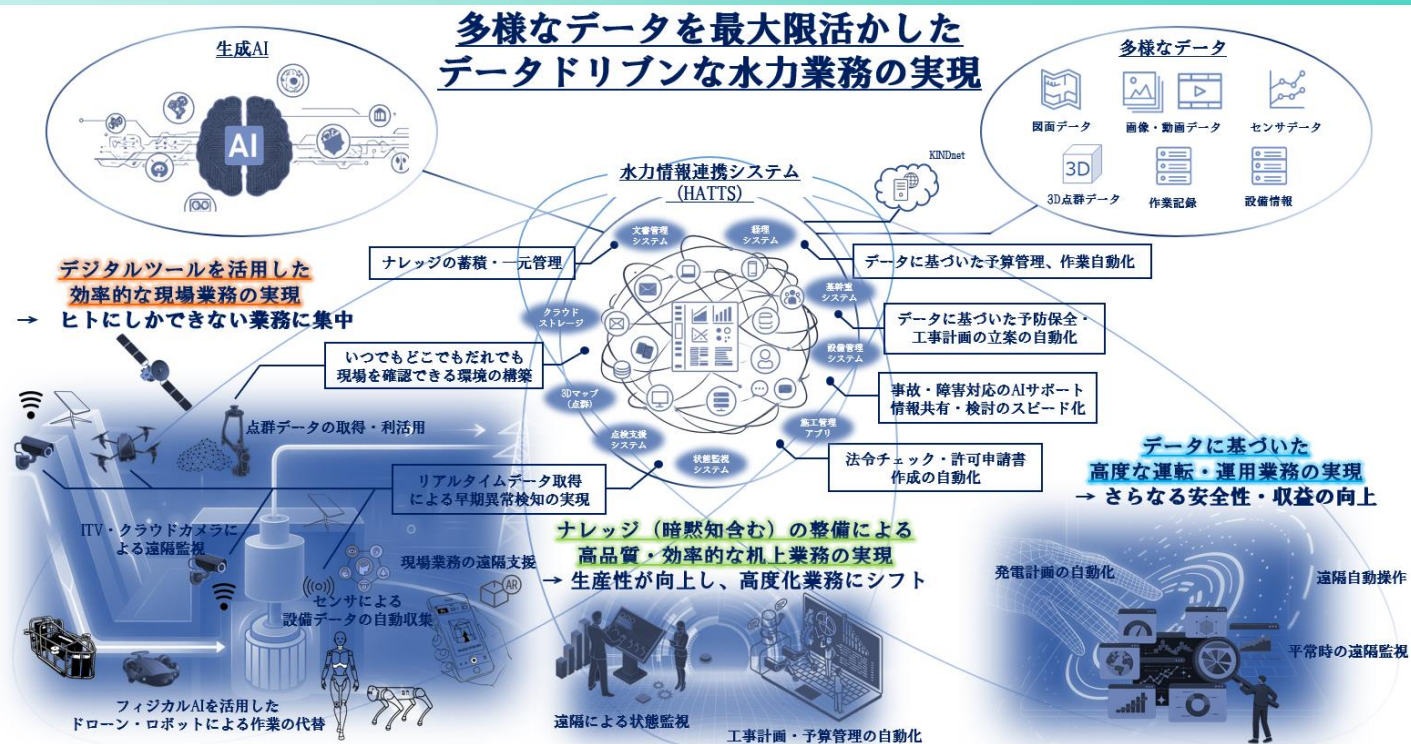
- 全発電所データの構造化・コンテキスト化
- アジャイル開発による適用ユースケース拡大
- 情報連携による判断の早期化

データの高度解析による最適化された運転・運用業務の実現

＜水力情報連携システム＞

- データに基づいた運転計画、流入量予測の最適化支援

次世代水力業務のありたい姿



- 送配電業務全般の業務変革およびエネルギープラットフォーマーへの進化を実現するため、**DXロードマップを策定し、足元では、「データの蓄積と徹底的な活用」、「Agile Win」、「刷新によるシステムの次世代化」の3つのアプローチ**で取り組んでいきます。

## FY26～の取組み（DXロードマップ）

## 2050年の到達点

関西電力送配電は、2050年に掲げる  
グループビジョン実現を到達点とし  
DXロードマップを策定

現在

FY27  
ありたい姿FY32  
ありたい姿FY40  
ありたい姿

## DX戦略に基づく3つのアプローチ

データの蓄積と  
徹底的な活用

## データ蓄積・活用計画の策定

- 2050年や通過点での「ありたい姿」を定め、**実現に必要なデータを蓄積し、活用**する計画を策定

## データ活用基盤の構築

- 蓄積したデータを**一元的に管理**
- AI/ML、BIによりデータを**徹底的に活用**

Agile Win



## 個別案件のスピーディなPoC/現場適用

- データを活用した運用高度化・省人化・自動化
- 高度専門人財の内製化**

刷新によるシステムの  
次世代化

## 拡張可能なITインフラの構築

- クラウド化によりレガシーシステムから脱却し、**拡張性・柔軟性を向上**
- 外部連携機能等の強化**

2050年に向けたありたい姿  
～関西電力送配電グループビジョン～  
(エネルギープラットフォーマーへの進化)

多様な形態でのエネルギーの安定的な提供をはじめ  
新たな価値をお届けすることで  
快適で便利な社会を創り、支える

カーボンニュートラルの  
実現多様化する系統  
ニーズへの対応

レジリエンスの向上

# DX計画 - 小売・ソリューション

- ソリューション本部では、これまで**エネルギーマネジメントシステムを始めとする各種サービスにおけるAI活用や、活動基盤の強化に向けたDX取組み**に注力してきた
- 今後はDX・AI活用の取組みをさらに進めることを通じて、お客さまニーズの多様化・高度化に対応する**サービスプロバイダーへのさらなる転換、お客さま満足向上・業務高度化・効率化を目指す**

## これまでの取組み

### 各種サービスにおけるAI活用

**エネルギーマネジメントシステム**

DR指令      リソース最適制御      エネルギー最適化支援

K-VIPs      SenaSon      エネル-ク

分電区エネルギーソリューション

**社会貢献促進プラットフォーム**

いいタネ、どんどん、根づいてく。

**Mエア**

### 活動基盤の強化に向けたDX取組

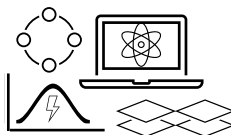
- お客さま接点の統合による問合せ対応高度化  
(チャットボット・Web受付・オペレーターの連携)
- 法人マイページの統合UI化 **かんでん Biz**
- 営業支援AI試行開発
- 営業ダッシュボードによる営業活動の高速PDCAの実現
- 開発環境導入・DXツール活用促進



## FY26～FY28の取組み

- **お客さまニーズの多様化、高度化を捉えたサービスプロバイダーへのさらなる転換を目指す**

市場接続と制御対象拡大  
(DR市場、他EMS、新規リソース)



生成AIを活用した事業開発・サービス改善の定着



## 2035年頃の到達点

**SenaSonを中心とした制御・最適化サービスの収益拡大**

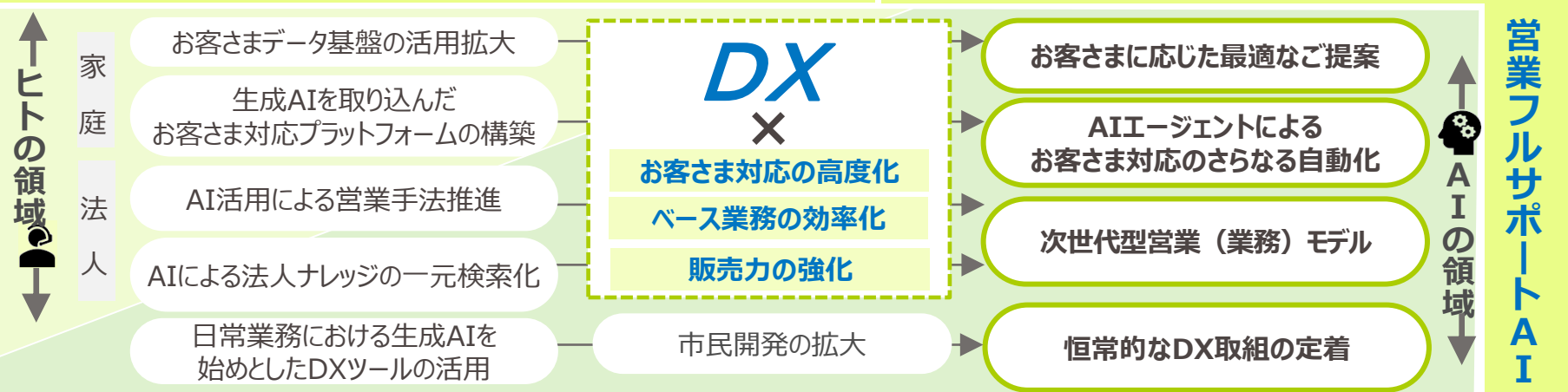
**新たな事業領域拡大**

**脱炭素・省人化など社会課題解決の実現**

- **営業フルサポートAIによる、お客さま満足向上や業務高度化・効率化を目指す**

### ヒト中心の業務運営から、ヒトとAIの協働へ

### AI活用の飛躍的促進



- オフィス業務では、これまで**生成AIツールの全社展開**や**コーポレート業務へのAI導入**により**オフィス業務DXの拡大・浸透**に取り組んできた
- 今後は**AIエージェントとの協働による新たな働き方の創出**を目指し、**AIエージェントの導入**や**経営判断に資するAI活用**を進める

これまでの取組み

FY26～FY28の取組み

2035年頃の到達点

オフィス業務DXの拡大・浸透

AIエージェントの台頭

「AIエージェントと創る新たな働き方」

全社  
共通  
業務

生成AIツールの全社展開

オフィス業務ツールへの  
生成AI機能搭載

パーソナルAIの導入

共通業務AI

情報収集・分析

企画・提案

日程調整

資料作成

専門業務AI

会計データ作成

調達契約

採用データ分析

面接サポート

組織横断での業務AI化

AIオーケストラ

投資・リスク評価AI

経営会議AI

経営の  
意思決定支援AI

コーポ  
レート  
業務

業務ポータル生成AI導入の水平展開

広報対応、法令手続支援等へ  
生成AI導入

将来的なAI活用を見据えた  
人事労務・調達システムの刷新

部門AI

経営企画

戦略策定

法務

リーガルチェック

人事

採用・  
人財開発

IT  
DX・  
システム開発

共通業務AI

広報

プレス作成

調達

請求・契約  
査定

経理

投資評価・  
会計処理

経営

経営の  
意思決定支援AI

論点提示

社外専門家  
(他社/顧客/世論)

ファシリテーション

議論の多角化  
(積極/中立/慎重)

精度向上

AI討論

リスク評価

資料壁打ち

パーソナルAI

1. トップメッセージ

2. 「関西電力グループ 経営計画2026」の概要とDX・AIの取組み

3. これまでのDXの取組み

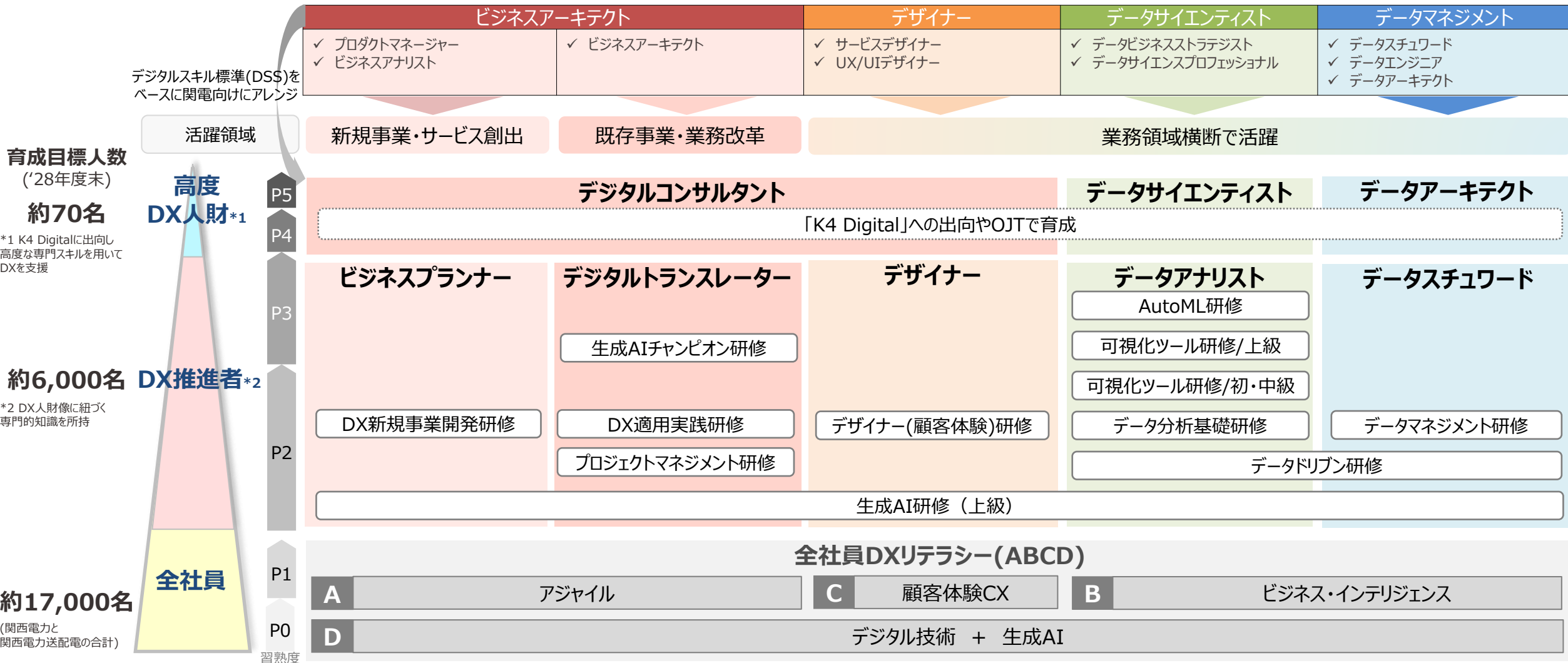
4. 今後のDX・AIの取組み

**5. DX推進を支える基盤**

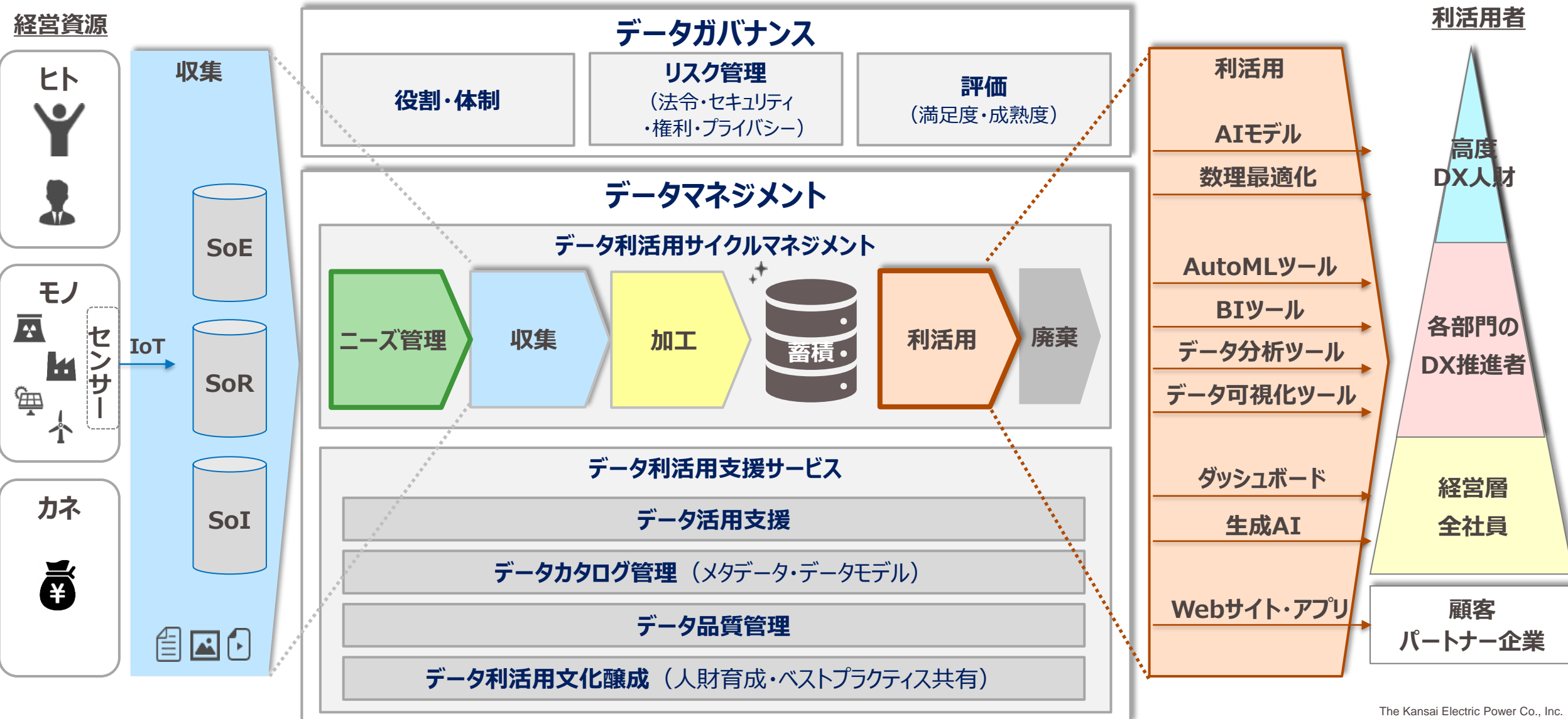
6. DX案件数・投資対効果

7. 最後に

- 対象者を**高度DX人財/DX推進者/全社員**の3層に分類、**育成目標人数**を設定して社外公表
- IPAの定めるデジタルスキル標準(DSS)**に基づき**スキル・マインドセット**を定義した**DX人財戦略**を策定。**人財像・習熟度毎**に必要な**人財育成施策**として、'25年度は**全31講座の研修コンテンツ**を提供した
- 研修コンテンツの更なる拡充等により、'28年度末に**高度DX人財約70名、DX推進者約6,000名**の育成を目指す



- AIの利活用を前提とした業務の再構築が進む中、**当社独自のデータを蓄積・活用することが強みや差別化の源泉**となる
- 業務データの**精度・鮮度を向上**させることで、**迅速で高度なデータ活用・意思決定ができる仕組み**を実装する



- **AIを導入・開発・利用**する際の業務フローに則した**網羅的な社内ルールを整備済**、社外の最新動向を収集しながら持続的な改正を行う
- 今後、自律的な業務処理が可能な**AIエージェント**の導入や**顧客接点業務へAI適用**する際に想定されるリスクを洗い出し、更なる対策を講じていく

## 社内ルール

## リスク・対策

ポリシー

### 原則・方針

#### AI利活用に関する通達

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1. 安全性      | 6. 透明性       |
| 2. セキュリティ確保 | 7. アカウンタビリティ |
| 3. 公平性      | 8. 教育・リテラシー  |
| 4. プライバシー保護 | 9. 公正競争確保    |
| 5. 人間中心     | 10. イノベーション  |

### AIサービスの導入

#### クラウドセキュリティに関する取扱通達指針

- クラウド評価
- 認定
- セキュリティ対策
- 契約事項 等

### AIシステムの開発

#### 生成AI利用システムの開発に関する取扱通達

- リスクレベル
- PoC
  - 社内向け
  - 社外向け

### AIの利用

#### 生成AI利用ガイドライン

- 入力データ
- AIモデル再学習の有無
- 出力データ
- 誤った回答
  - 著作権侵害

- AIエージェントの導入・顧客接点業務へのAI適用におけるリスクと対策

### 主たるリスク

### 対応・対策

誤った業務処理による顧客影響

- **人による最終確認/承認**の仕組みを必須化

AIエージェントの意図せぬ挙動/不正操作による情報漏洩・更新

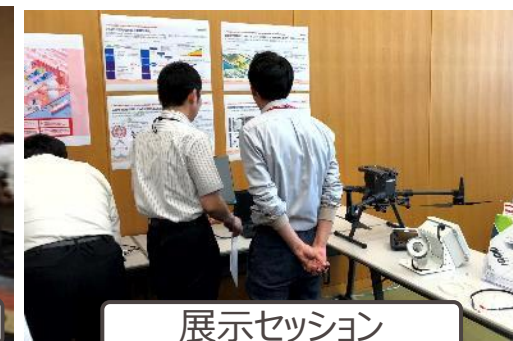
- AIエージェントを統制する**ガードレールを設定**  
(ID管理、権限管理、認証・認可、監視・緊急停止機能)

高性能AIを悪用したサイバー攻撃の高度化

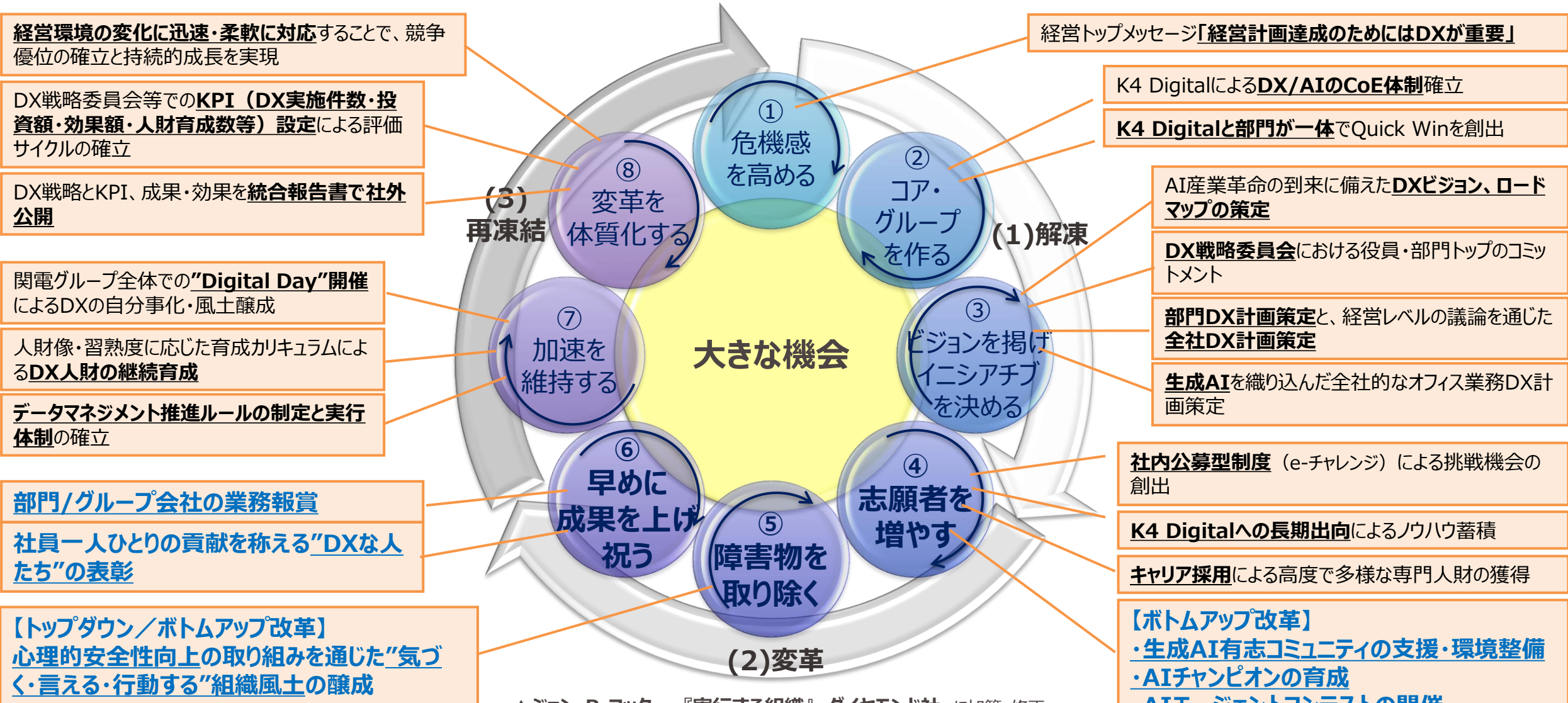
- AIエージェントの**監査ログを保管・分析**
- **脆弱性情報**の早期収集・対応
- **ゼロトラスト**の導入

- 関西電力グループでのDX風土の醸成を目的としたイベント「Kanden Digital Day」を開催(過去6回実施)  
リアル・オンライン合わせ、1,100名以上のグループ会社の従業員が参加。満足度90%以上
- 現場も含めてDXの自分事化に繋げることを目的に、基調講演やAIエージェントコンテスト、各部門からのDX取組み事例発表、各部門でDXを牽引した「DXな人たち」の表彰を実施

## 2025年度の様子



・ 変革の「8つのアクセラレータ」を意識し、「トップダウン／ボトムアップ両面」から、挑戦する組織風土を「戦略的に作り込む」



1. トップメッセージ

2. 「関西電力グループ 経営計画2026」の概要とDX・AIの取組み

3. これまでのDXの取組み

4. 今後のDX・AIの取組み

5. DX推進を支える基盤

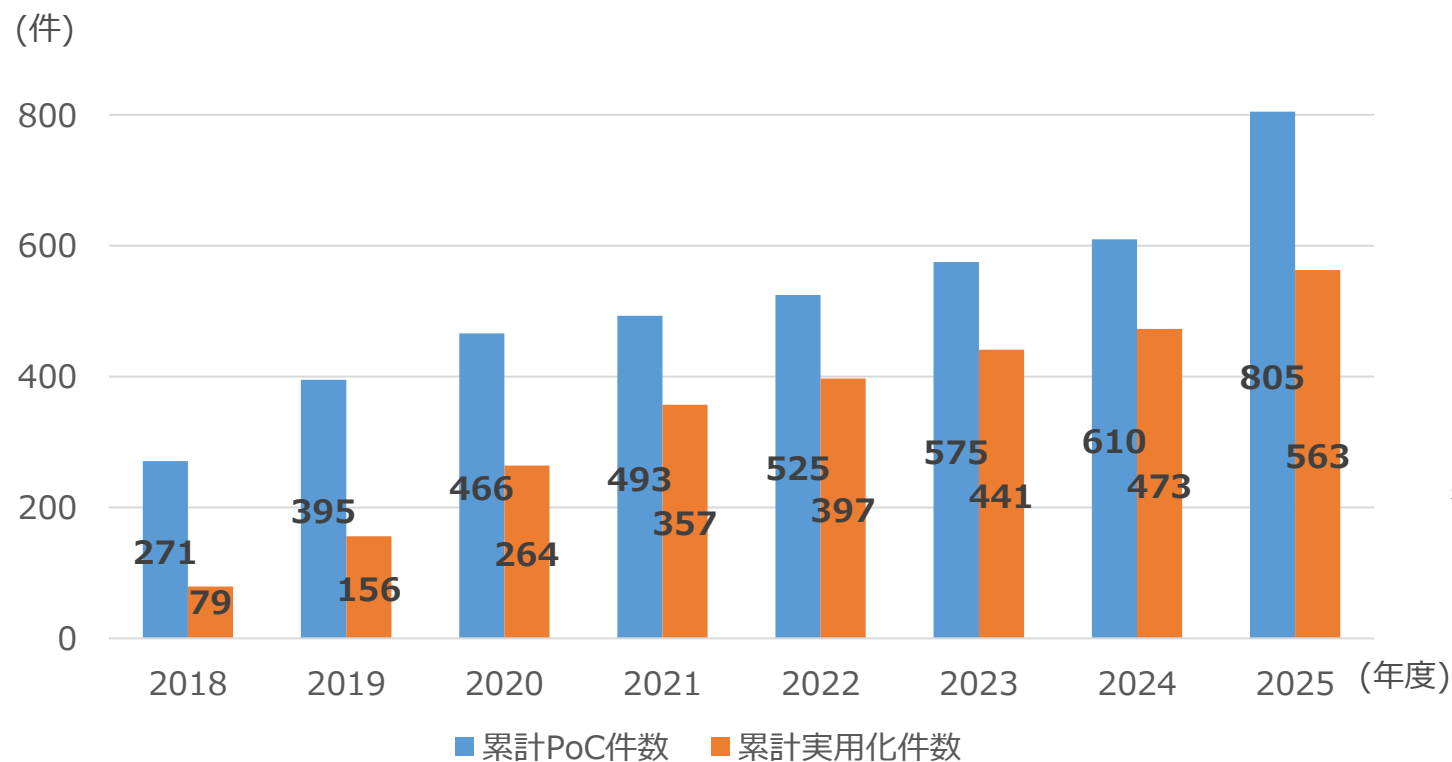
**6. DX案件数・投資対効果**

7. 最後に

## DX案件数

- 2018～2025年度の期間で、DX案件に関する**805件のPoC(概念実証)**を実施し、**563件を実用化**

## PoCと実用化の件数推移



## DX案件の例

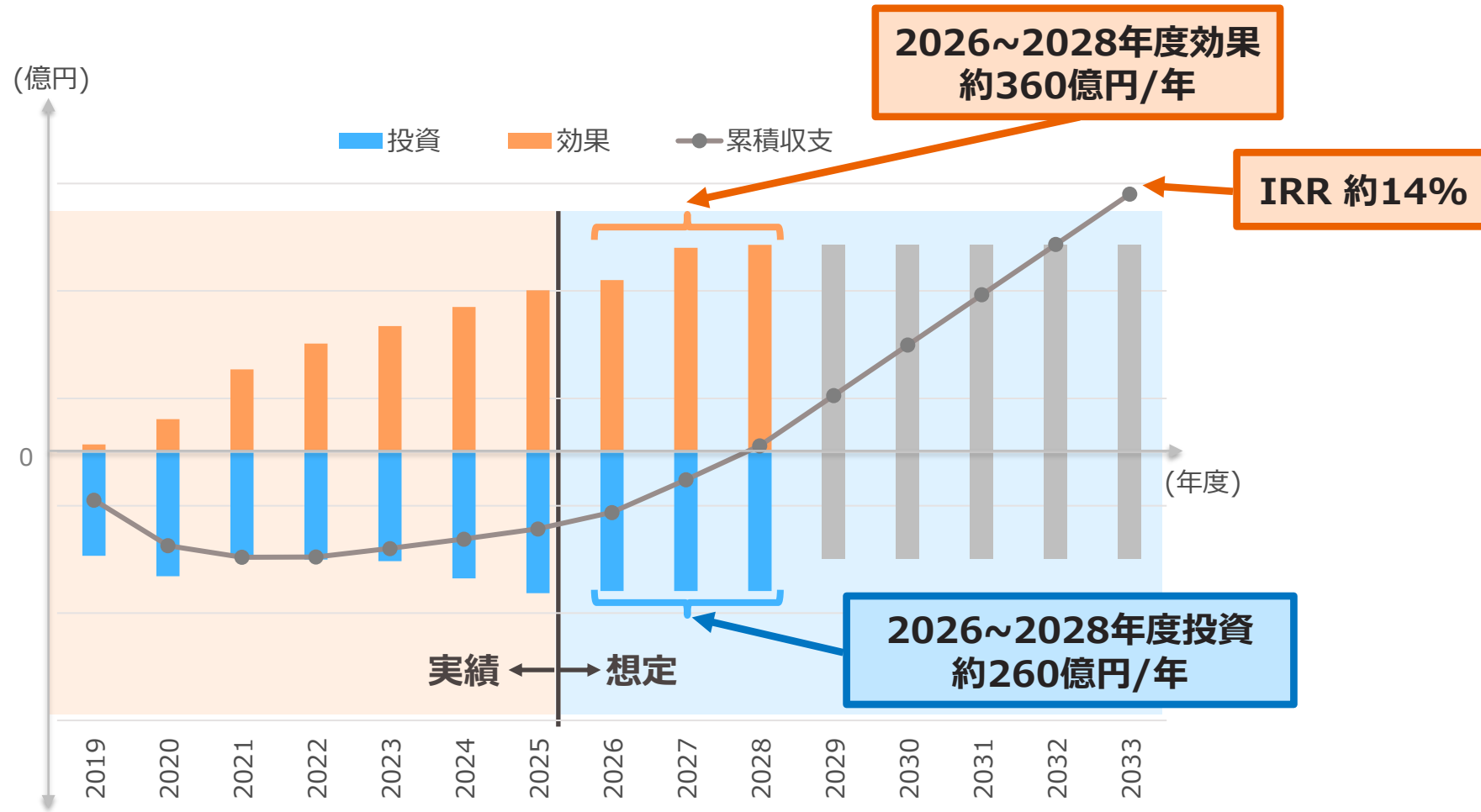
**[火力発電所]**  
ロボット・センサ×AIを活用した  
巡視点検の効率化



**[水力発電所]**  
AIを活用した流氷雪自動検知



- 2026~2028年度の平均DX効果は約360億円/年、2019年度からの累積IRR(内部収益率)は約14%の見込み



\*1 2026~2028年度は計画値。2029年度以降は新規投資を止めた場合

## 1. トップメッセージ

## 2. 「関西電力グループ 経営計画2026」の概要とDX・AIの取組み

## 3. これまでのDXの取組み

## 4. 今後のDX・AIの取組み

## 5. DX推進を支える基盤

## 6. DX案件数・投資対効果

## 7. 最後に

- 刷新したDXビジョン・ロードマップに基づきDX・AIの実装を全社一丸で加速することにより、「**AIの利活用によるサービス創出と業務の再構築**」を実現する

- 1 関西電力グループはこれまで、経営・事業・DX専門子会社の三位一体、およびOpenAIとの戦略的連携によりDXを推進してきた(DX銘柄2026に選定)
- 2 AI前提の変革を実現する新たなDXビジョン・ロードマップに基づき、事業DX・オフィス業務DXを一層加速する
- 3 DXの基盤であるDX人財育成、データマネジメント、ITガバナンス・情報セキュリティの強化に取り組む

# 参考

## 会社概要

- 代表者：取締役社長 寺本 昌弘
- 設立年月日：2018年8月1日
- 資本金：9,000万円（関電80%、アクセンチュア20%）
- 要員：149名（2026年5月現在）
- 事業内容
  - ・最先端デジタル技術・事例の収集
  - ・デジタル技術を活用した事業アイデアや業務改革テーマの創出支援
  - ・デジタル技術の適用検証作業の設計・実行
  - ・デジタル人材の育成支援
  - ・データ利活用、データマネジメントの支援
  - ・上記に関連するサービス

## 設立のねらい

### ① 最先端デジタル技術・先進事例の情報収集力強化

- ・社外パートナーを活用し、世界中の最先端デジタル技術や活用事例をタイムリーに収集

### ② デジタル技術サポート部隊の質・量両面からの強化

- ・多様な最先端技術に精通した社外のスペシャリスト集団と連携し、最適なデジタル技術適用を提案・実現
- ・多数の案件を同時並行で実行できるよう検証体制を強化し、デジタル技術適用検証を加速

### ③ デジタル人材の早期育成

- ・社外の高度デジタル人材と一体となった体制を構築し、高度なスキルを持つデジタル人材を早期に育成

- ・近年は特に、デジタルで課題解決を実現するビジネス改革人財（デジタルコンサルタント）の育成に注力
- ・昨今の生成AIニーズの高まりを受け、2024年6月に生成AI専門チームであるAI CoE(Center of Excellence)を新設・体制増強